

森林組合だより

森の声

平成27年
(2015年)

7月1日
No.114

編集、発行：〒012-0055 秋田県湯沢市山田字福島開372番地5 雄勝広域森林組合
TEL 0183-72-1197 FAX 0183-72-1199 E-mail: sinrin@ogachimori.com

第19回総代会全議案「全員賛成」



佐藤組合長が全国森林組合連合会会長と
秋田県森林組合連合会会長に再任される

第十九回通常総代会全議案可決

六月九日、第十九回通常総代会が一五三名の出席（委任出席を含む）のもと開催されました。

組合長挨拶（後に全文掲載）、来賓を代表して石田雄勝地域振興局農林部長より祝辞を頂きました。続いて、議長に湯沢地区宮原保夫氏を選任して議事に入り、全議案満場一致で可決されました。

本年も六月の開催としたことで本人出席も多く、質疑は多く出ませんでしたが、今後の林業を取り巻く情勢を熱心に聞いていました。尚、可決された議案は次のとおりです。

議案第一号 平成二六年度業務報告書承認について
 議案第二号 平成二七年度事業計画書設定について
 議案第三号 賦課金の賦課及び徴収方法について
 議案第四号 本年度内における借入金の最高限度について
 議案第五号 本年度内における組合員及び組合員以外の者に対する

る貸付金の最高限度について

議案第六号 本年度内における貸付金利息の最高限度について

議案第七号 本年度内における債務保証の最高限度について

議案第八号 役員報酬について

議案第九号 余剰金の預け入れ先について

議案第十号 役員退任慰労金の支給について

議案第十一号 定款及び附属書林地供給事業実施規程の一部改正について

組合長挨拶

本日、雄勝広域森林組合第19回総代会を開催しましたところ、お忙しい中多数ご出席いただきありがとうございます。また、ご来賓として雄勝地域振興局農林部長石田様はじめ、日頃から大変お世話になっておられる皆様多数ご臨席いただき心より感謝申し上げますとともに、今後ご指導下さいますようお願い致します。

第19回総代会と言うことで思い

起こすと広域合併からまもなく20年になるわけで、非常に感慨深く思っているところです。今後ますます役員一体となって全国に名だたるモデル組合としてしっかりと健全経営で進んでいきたいと思っております。

さて、26年度を振り返ってみますと安倍政権が発足して以来、いわゆるアベノミクスの経済政策により景気が徐々に良くなっていると言われていますが、消費税増税後は消費が伸びないということですからちょっと気になるところです。



挨拶する佐藤組合長

我々地方にいる者には景気の良さは感じられない実態にあり、今後に期待していきたいところです。

そういう中で、林業界の情勢についてですが、国では昨年6月に日本再興戦略と農林水産業・地域の活力創造プランが改正され林業を成長産業化すると大きく位置づけられています。そして12月には、まち・ひと・しごと創生総合戦略が決定になりました。

地方創生の切り札として林業にますます期待がかかっていると感じているところです。木材の需要拡大についてはここ数年大変いい動きが出てきており、公共建築物等木材利用促進法が施行されました。それに、再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まって全国で木材のバイオマス発電が稼働しています。今年4月に高知で大きいプラントが始まり私も竣工式に行ってきたところです。

それから、CLT直行集成板という新しい技術が開発されています。そして、木ダムなどの土木用木製構造物がどんどん普及しています。さらに2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、そのいろいろな施設に木を出来るだけたくさん使ってもらおうという大きな動きをしているところです。そうしたことが先ほど話した国の政策などが相まって我々にとっては追い風が吹いてきたと感じることが出来ます。そのオリンピック・パラリンピックに関するのですが、中央に木材利用拡大推進本部を立ち上げました。先日5月末に自民党本部において我々関係者と与党の衆参国会議員の先生方約30名が集まりいろいろな協議、話し合いをしたところです。その場にオリンピック施設に関する方も来ていただき直接このことについて要望し

ました。その拡大推進本部長は元
林野庁長官の前田さんですが副本
部長を私が務めているところです。



議長 宮原氏

それから、昨年10月15日に東京
国際フォーラムで全国木材産業振
興大会が行われました。その席上
で全国木材協同組合連合会（全木
連）と全国森林組合連合会（全森
連）とで行動宣言をして調印式を
行いました。それは今後社会づく
りに何か始めようとしたらまず木
を考える、木で造ることから始め
ることでウッドファースト社会と
名付け、この実現に向けて全木連
と全森連がこれまでの枠組みを超
えて互いに協力しようと言った
ということ。非常に意義のある
ことでマスコミにも大きく載せ
ていただきました。林業・木材業
界の新たな歴史の扉を開けること
が出来たので、これからは、一般
国民の皆さんにもしっかりと振興を
図っていかねければならないと
思っているところです。

され、8月11日を「山の日」とし
て祝日に決定していただきました。
待ち望んでいたことで大変喜んで
いるところです。そして、身近な
ところで面白い話題ですが、この
たび秋田県で若い林業技術者を育
てる林業大学校が開校しました。
15名の募集に対して18名が合格し
4月10日に開校式を行いました。
これは県が主体になって行ってい
くわけですが我々林業木材業界の
関係者や林業機械を取り扱う業者
の方々でサポートチームを作り、
その会長を私が務めています。開
校式の時に知事と私で互いに協力
していこうと言うことで覚書に調
印したところです。非常に評判が
良く今後も継続していくようお願い
していきたいと思っています。

それともう一つ、昨日ドイツで
G7が行われている話し合われ
たわけですが、その中で我々に関
係した大きな問題が出ています。
それは地球温暖化防止に關しての
二酸化炭素等の温室効果ガス削減
目標を、各国が意欲的なものを出
し合わなければならないというこ
とで、今回安倍総理が公表したこ
とです。その内容ですが、201
3年に排出した二酸化炭素等に比
較して、我が国としては2030
年までに26%削減するということ
です。二酸化炭素を出す方を34%
削減するというのですが、これ
は至難の業で相当国民に負担を強
いるものだと思います。なぜか
という温暖化対策の切り札は原
子力発電だったのですが、今の状
況ではそれに依存することが出来
ないからです。



石田部長の祝辞

そこに森林での吸収を2.6%上乗
せするということが、森林に
吸収させるということは森林整備
をしつかり行い、年間52万haを
間伐し整備しなければこれをクリ
アすることは出来ません。国が約
束したことを我々が実行していく
という立場で今後については積極
的に予算要求していくことが出来
る、その道筋がついたと思ってい
ます。そしてそれが全国に160
万人いる森林組合員の皆さんの利
益に直結していくような予算取り
をしていかねばならないと思っ
ています。いざ来年度、まだ木
材価格は思うように上がってこな
いのでその面では不満ですけれど
も、何とか所有者に還元させてい
くための政策なり予算の獲得など
について道筋がついてきましたの
で、我が国の山と森林を健全に
保つていくそのためにがんばって
いきたいと思っているところです。
26年度の決算ですが積極的に事
業に取り組んできた結果、事業総
収入は8億5千万これは計画対比
120%になります。それから事
業総利益は2億7千800万円で
内部留保をしつかりして827万
円の当期剰余金を計上することが
出来ました。これもひとえに総代
の皆様方はじめ組合員、関係各位
のご協力のおかげであると感謝し
ています。27年度も大変厳しい
状況でございますが、しっかりと
先を見据えていきたいと思いま
すので、今後ご理解ご協力をお願
い申し上げます、また、今日の議案を
ご審議頂きまして全議案ご承認頂
きますようお願い申し上げます。ど
うぞよろしくお願い申し上げます。

組合長再任

六月十八日、当組合代表理事組
合長 佐藤重芳が全国森林組合連
合会会長に再任され、引き続き要
職を務めることになりました。
また、五月二十六日には秋田県
森林組合連合会会長にも再任され
ています。
組合長は、林家の代表として声
を直接国へ届けることを第一に三
年間尽力してきました。再任され
その行動が益々大きな波となり、必
ずこの雄勝地域の林業に好影響を
もたらすものと期待しております。

貸借対照表

平成27年3月31日現在
単位：千円

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	503,969	流動負債	258,152
有形固定資産	166,226	固定負債	192,052
無形固定資産	785	負債合計	450,204
外部出資	29,990	資本の部	
その他の固定資産	1,434	出資金	110,563
繰延資産	1,238	剰余金	142,875
		資本合計	253,438
資産合計	703,642	負債・資本合計	703,642

損益計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
単位：千円

科目	小計	合計
I 事業総損益		
1 収益	855,997	
2 費用	647,644	
事業総利益		208,353
II 事業管理費		196,270
事業利益		12,083
III 事業外損益		
1 事業外収益	10,315	
2 事業外費用	6,746	
事業外損益		3,569
経常利益		15,652
IV 特別損益		
1 特別利益	1,048	
2 特別損失	721	
特別損益		327
税引前当期純利益		15,979
法人・住民及び事業税額		7,700
当期純利益		8,279
前期繰越剰余金		8,010
当期末処分剰余金		16,289

平成26年度剰余金処分

単位：千円

摘要	内訳	小計	合計
I 当期末処分剰余金	当期剰余金 繰越剰余金	8,279 8,010	16,289
II 剰余金処分額			
1. 法定準備金		1,700	
2. 任意積立金			
(1) 損失補填積立金		5,000	
(2) 役員退職金積立金		1,247	7,947
III 次期繰越剰余金			8,342

平成27年度事業計画

自 平成27年4月1日
至 平成28年3月31日

部門	収益	費用	損益
指導	9,622 千円	6,620 千円	3,002 千円
販売	349,447	287,081	62,366
加工	53,872	48,515	5,357
森林整備	334,452	217,837	116,615
計	747,393	560,053	187,340

『桐共販市』 盛況

平均単価過去最高

第33回桐原木共販市が6月26日(金)院内の当組合市場にて開催されました。

良質な秋田桐を求めて全国各地より20業者が入札に参加しました。また今年も九州福岡や兵庫からの新業者の参加により、単価が上がったと思われます。

結果、平均単価が過去最高となり予想以上の高値で売れたものが多く落札率(材積)93.7%と好調でした。尚、残った材については、随意契約で完売しました。

年に1回の共販市でもあり、頑張っ量をまとめて買ってきたいと、多くの業者さんの話でした。

また当日は、雄勝中学校3年生が市場の見学を訪れ、並べられた桐丸太を観察し、出荷者や業者の人に質問する姿が、あちらこちらに見られました。



最高額の桐(番号6)



視察に訪れた雄勝中学生



只今品定め中

第33回桐共販市入札結果

	件数・材積・金額		件数・材積・金額
出品件数	440件	出品本数	2,205本
出品材積	205.670m ³		
売上件数	440件	売上本数	2,205本
売上材積	205.670m ³	売上金額	12,617,461円
平均単価	1 m ³ 当たり		61,348円
最高単価	1 m ³ 当たり		306,435円

木材市況

秋田木材流通センター入札結果

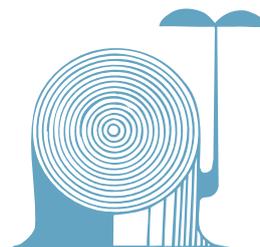
◆開催日
平成27年 6月10日
m³あたり

3.65m (12尺)	高	値	安	値	平	均
13cm 下		8,000円		7,559円		7,798円
14~22		8,729円		7,859円		8,536円
24~28		12,129円		10,329円		11,295円

●概況 製材所側に仕入れ意欲がなく、高齢級の良材の大量出店にもかかわらず、34%と低調に終わった。高齢級の良材は思ったほどの単価が入らず苦戦。一般材についても、量産工場が応札しないなど仕入れ意欲が全くなく、単価も前月比で1,500円ほどの下落。製材品市況、売れ行きとも全く不振が続いていることから、この傾向はしばらく続きそう。毎回、売れ行きの悪い36cm上の中玉Bは全く応札なし。

平成27年 6月 当森林組合販売平均単価

杉丸太	2m		3.65m		4m	
	円/m ³	円/石	円/m ³	円/石	円/m ³	円/石
13cm 下	5,400	1,500	5,400	1,500	5,400	1,500
14~22	7,593	2,109	10,620	2,950	9,506	2,641
24~28	8,640	2,400	11,340	3,150	10,099	2,805



森 の 市

5月9日、第31回「森の市」が開催されました。

今回から規模を縮小して、湯沢市緑化推進協議会提供の苗木の無料プレゼント（今回は「市の花」サクラ）と山菜直売を実施しました。また、組合員出展のパンとイワナ焼きの販売も行われました。



苗木のプレゼント



山菜の販売

賦課金の口座振替の皆様へ

7月27日(月)に指定口座より引落します。残高の確認をお願いします。

対象は、JAこまち、うご、秋田ふるさと及びゆうちょ銀行です。

編集後記

総代会が終了し、二十七年度が本格的にスタートしました。

そして、組合長の全森連会長2期目がスタートしました。過密なスケジュールに、先ずは「健康第一」に務められるようにサポートして行きたいと思えます。

さて、今年の木材界は慌ただしい気配もあります。その動向については随時お知らせして参ります。

(A・T)